

霊園の見晴らしの良さをPRする鬼頭和弘住職=いずれも熊野市波田須町で

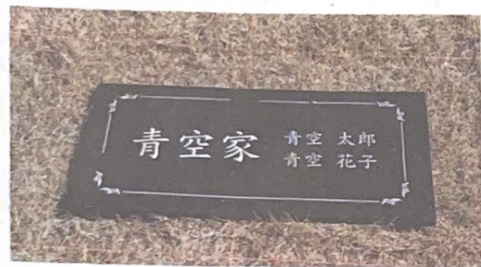
熊野に「樹木葬」の墓地

海と山に抱かれ眠って



樹木を墓標として周囲に遺骨を埋葬する「樹木葬」の墓地が3日、熊野市波田須町にオープンした。約3千平方メートル、7千区画と県内有数の規模で、宗旨や宗派は問わない。ペットと同じ区画に埋葬するプランもあり、時代のニーズに 대응する新たな埋葬方法として注目を集めそうだ。(酒井貴之)

古道伊勢路を望む高台に7000区画



プレートのデザインの一例

い場所で安心して眠ってもらえるように」と説明する。30坪四方の1〜2人向けと、6人まで埋葬できる縦30坪横50坪の2種類の区画があり、芝の上に名前や希望する言葉を彫った御影石のプレートを置く。埋葬後は寺が管理し、「美しい景色の中でお参りでき、掃除や花の交換も不要」と和弘さんは強調する。

宮之上小児童 水難事故防止講習などに感謝



市山部長室に花を手渡す児童ら。尾鷲市の尾鷲海保に贈る

育てた花 尾鷲海保に贈る

尾鷲市の宮之上小学校の児童が7日、同市の尾鷲海上保安部を訪れ、水難事故防止講習などに感謝し、育てた花を贈った。

尾鷲・妙長寺

来月8日「花祭り」

4年生3人が市山卓己部長に鉢植えのデージーを手渡した。宮原紅杏さん(10)は、昨年11月の防災教室で巡視艇「みえかぜ」の放水銃を操作したことが印象に残っていると、「お礼の気持ちを含めた」と話した。市山部長は「今後も小

学校と連携して地域の安全に努める」と力を込めた。同校では今年、お世話に

尾鷲市北浦町の妙長寺は4月8日、釈迦の誕生日を祝う「花祭り」(釈尊降誕会)を開く。キッチンカーや物販もあり、住職の青木三明さん(49)は、気軽に足